

1. 土砂災害から身を守ろう

大雨が降って山やがけが崩れたり、水と混じり合った土や石が流れてきたりする災害のことを土砂災害と言います。

土砂災害は、家や田畑、道路を壊し、人の命まで奪ってしまうおそろしい災害です。しかし、大雨による土砂災害は、突然起こる災害ではありません。日頃から危険な場所や緊急避難場所を調べておき、危険を感じたら早めに避難して、自分や家族、大切な人の命を守りましょう。

※地震で土砂災害が発生することもあります。地震発生時はすぐに危険な場所から離れましょう。



出典:平成23年7月新潟・福島豪雨および平成25年7月豪雨による土砂災害の記録、新潟県

チェック! 長岡市土砂災害ハザードマップで調べよう!



長岡市土砂災害ハザードマップ 検索

2. 土砂災害の危険な場所を知ろう

土砂災害には、3つの種類(がけ崩れ・土石流・地すべり)があります。

まずは、土砂災害ハザードマップで自分の家を見つけましょう。

自分の家を見つけたら、土砂災害警戒区域に入っていないか、土砂災害警戒区域に入っていない緊急避難場所はどこかを調べましょう。

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

土砂災害のおそれのある区域

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

建築物が損壊し住民に大きな被害が生じるおそれのある区域

土砂災害警戒区域とは?

法律に基づいて指定された土砂災害のおそれのある区域のことです。「土砂災害警戒区域(イエローゾーン)」と「土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)」の2種類があります。

警戒区域内で土砂災害が発生すると、区域内の建物や道路は壊れて、人の命に危険がせまります。レッドゾーンはその中でも特に危険な場所です。

	がけ崩れ	土石流	地すべり
説明	山やがけなどが崩れて、大量の石や土が崩れ落ちてくること	山や谷の石、土砂や木などが、雨水や川の水と一緒に流れてくること	山の広い範囲の地面が、木や田んぼと一緒にすべり落ちるよう動くこと
マップの見方	土砂災害警戒区域(イエローゾーン) / 土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)	土砂災害警戒区域(イエローゾーン) / 土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)	土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

チェック! 土砂災害ハザードマップを調べて、分かったことを書きましょう!

①自宅や学校は土砂災害警戒区域内にありますか?

がけ崩れ 自宅(ある・ない) / 学校(ある・ない) | 土石流 自宅(ある・ない) / 学校(ある・ない) | 地すべり 自宅(ある・ない) / 学校(ある・ない)

自宅が土砂災害警戒区域内にある人は、早めに土砂災害警戒区域外に避難!

②自分の家の近くの土砂災害警戒区域外の緊急避難場所はどこですか?

3. 避難のための情報に注意しよう

土砂災害のおそれがある時には、気象庁などからレベル3土砂災害警報やレベル4土砂災害危険警報、市から避難情報が発表されます。これらの情報は避難行動を判断する大切な情報ですので、注意しましょう。また、土砂災害は前兆現象が発生することがあります。山や斜面の変化にも気を付けましょう。

①避難のための情報はどのようにして集めますか?

資料「避難のための情報の集め方」を確認して書きましょう。

市が発表する情報	情報の意味	情報を集める方法は?
警戒レベル3 高齢者等避難	高齢者等、避難行動に時間を要する方に対し、土砂災害警戒区域外への避難を呼びかけるために発令	
警戒レベル4 避難指示	危険な場所から全員が土砂災害警戒区域外などへの避難をする必要がある段階で発令	
警戒レベル5 緊急安全確保	災害がすでに発生または差し迫った段階で発令	

②土砂災害の前兆現象にはどのようなものがありますか?調べて書きましょう。

	がけ崩れ	土石流	地すべり
前兆現象			

4. 早めの避難行動を心がけよう

レベル4土砂災害危険警報が発表されたら、市からの避難情報に注意し、早めに土砂災害警戒区域外にある緊急避難場所や安全な場所に避難しましょう。

また、土砂災害の前兆現象に気付いたときは、周囲の人にも知らせず早め避難しましょう。夜間やすでに道路が水に浸かっているなど、緊急避難場所までの避難が難しいときは、無理に屋外に避難せず、山やがけの反対側の2階以上の部屋に避難しましょう。



資料提供:NPO法人土砂災害防止広報センター



資料提供:NPO法人土砂災害防止広報センター



出典:やってみよう!家族防災会議、新潟県防災企画課

5. 「わが家の防災タイムライン(土砂災害版)」を作成しよう!

わが家の防災タイムライン(土砂災害版)とは?

「わが家の防災タイムライン(土砂災害版)」とは、事前に予想できる大雨による土砂災害に備えて、自分や家族のとるべき行動を整理し、時間ごとにまとめた「避難行動の計画」です。「いつ」「どのような準備や行動をするか」を決めておくことで、いざという時も落ち着いて行動できます。



自分の家やその周りに土砂災害警戒区域がないか、緊急避難場所や安全な場所はどこかを確認して、「家族全員が安全に避難するための準備や行動」を考えましょう。

年 組 番
氏名

時間	2~3日前	1日前から当日			
気象情報	<p>【警戒レベル1】 早期注意情報 台風情報</p>	<p>【警戒レベル2】 レベル2 土砂災害注意報</p>	<p>【警戒レベル3相当】 レベル3 土砂災害警報 土砂キキクル 赤(警戒)</p>	<p>【警戒レベル4相当】 レベル4 土砂災害危険警報 土砂キキクル 紫(危険)</p>	<p>【警戒レベル5相当】 レベル5 土砂災害特別警報 土砂キキクル 黒(災害切迫)</p>
発表情報	<p>警戒レベル 2以下 注意 かん起</p>	<p>警戒レベル 3 高齢者等 避難</p>	<p>警戒レベル 4 避難指示</p>	<p>警戒レベル 5 緊急安全 確保</p>	
マイ・タイムライン	<p>● 確認すること</p> <p>● 準備・行動</p>	<p>● 確認すること</p> <p>● 準備・行動</p>	<p>● 確認すること</p> <p>● 行動</p> <p>【非常用持ち出し品】</p>	<p>● 確認すること</p> <p>● 行動</p> <p>【非常用持ち出し品】</p>	
備えと行動の例	<p>● 確認すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後の台風の進路や今後の雨の降り方、雨の降る量、気象情報、土砂キキクルを確認する。 土砂災害の前兆現象に注意する。 家族で土砂災害ハザードマップを見て、自分の家で安全が確保できるか、緊急避難場所や避難方法、避難する時に通る道などを確認する。 家族の今後の予定を確認する。いざという時の連絡方法を確認する。 <p>● 準備・行動</p> <ul style="list-style-type: none"> 非常用持ち出し品や貴重品を確認する。足りないものがあれば、買い足す。 避難経路を確認する。 車の燃料を満タンにする。 携帯電話を充電する。 病院で薬を多めにもらっておく。 	<p>● 確認すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 長岡市が発表する避難情報や緊急避難場所の開設を確認する。 今後の雨の降り方や気象情報、土砂キキクルを確認する。 土砂災害の前兆現象に注意する。 <p>● 行動・(準備)</p> <ul style="list-style-type: none"> 危険な場所にいる高齢者や障がい者などは、介助をする人と避難する。 家族と連絡を取り合う。 緊急以外の予定はやめる。 山の斜面やがけには近づかない。 夜間やすでに道路が水に浸かっているなど、安全な場所までの避難が難しいと感じたら、無理に屋外に避難せず、山やがけの反対側の2階以上の部屋に避難する。 	<p>● 確認すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 長岡市が発表する避難情報や緊急避難場所の開設を確認する。 今後の雨の降り方や気象情報、土砂キキクルを確認する。 土砂災害の前兆現象に注意する。 <p>● 行動</p> <ul style="list-style-type: none"> 危険な場所から全員が避難する。 家族と連絡を取り合う。 山の斜面やがけには近づかない。 夜から朝にかけて大雨が降り続けると予想されている時は、暗くなる前に緊急避難場所や安全な場所への避難を考える。 夜間やすでに道路が水に浸かっているなど、安全な場所までの避難が難しいと感じたら、無理に屋外に避難せず、山やがけの反対側の2階以上の部屋に避難する。 	<p>● 確認すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害情報を確認する。 <p>● 行動</p> <ul style="list-style-type: none"> 危険な場所から直ちに避難を開始する。 安全な場所への避難が難しい場合は、無理に屋外に避難しない。山やがけの反対側の2階以上の部屋に避難する。 	

警戒レベル4までに必ず避難!

○ 避難情報・防災情報は
こちら

○ 長岡市緊急避難場所
位置図はこちら

←「ながおか防災ホームページ」

←「VACAN(パカン)」